

PARK LIFE



新種の恐竜、続々!!

公園内のサイクルステーションでは、丹波篠山市教育委員会主催の化石発掘体験会が行われている。

奥岸 明彦さん

丹波篠山市教育委員会
化石保護技術員



丹波並木道中央公園、そして公園にほど近い場所から発見された恐竜化石が新種だった!という、うれしいニュースが続いています。そしていま、太古の生きもの館ではボランティアの方々と共に、さらに調査・研究を進めるための活動を行っています。そのひとつが宮田(丹波篠山市)での発掘調査。重機を使って地層をはぎ取ってもらい、そこで出た岩石を現場で割りながら確認しているんです。そして、現場では割り切れなかった石を少しずつ生きもの館に運び、最後まで入念に「化石がないか」調べています。ちなみに、公園で行っている化石発掘体験会でも、この、宮田から出た石を使っています。ぜひみなさんも、化石調査に参加して恐竜化石研究のお手伝いをしてくださいね!

日本初のトロオドン科の恐竜
ヒプノヴェナトル・マツバラエトオエオルム 久保田克博 研究員
Hypnovenator matsubaraeotoeorum (兵庫県立人と自然の博物館)

2024年7月25日、篠山層群で2種類の恐竜の新種が発表されました。「眠る狩人」の意をもつヒプノヴェナトルは、鳥に近いトロオドン科という獣脚類に属します。発見された化石は骨同士がつながっており、その状態から眠った姿勢であったことが名前の由来です。さらに、この恐竜は進化型の同科であるトロオドン亜科であることが判明し、同亜科が機能の異なる前あしの指やバネ機能をもつ後ろあしを進化させたことで、世界的な繁栄につながったことが、世界で初めて明らかになりました。



ヒプノヴェナトル・マツバラエトオエオルムの化石。左から左前あし、左ひざ、左かかと

原始的角竜類がアジア→北米大陸へと渡った過程を示す
ササヤマグノームス・サエグサイ 田中公教 主任研究員
Sasayamagnomus saegusai (兵庫県立人と自然の博物館)

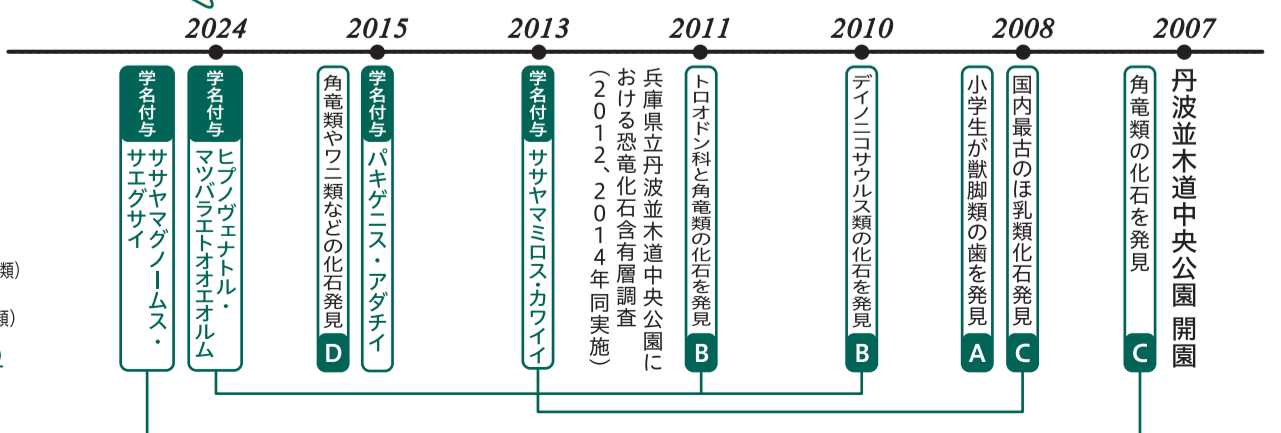
ササヤマグノームス・サエグサイは2007年に丹波篠山市で発見された恐竜です。トリケラトプスと同じ角竜類の仲間、体長約80cm、体重10kg程度の小さな植物食恐竜です。属名は「篠山の地下に隠された財宝を守る小人」という意味で、種小名は、丹波竜の発掘と研究を先導した故・三枝春生先生に献名されました。北アメリカの角竜と近縁で、前期白亜紀の角竜類がアジアから北米大陸へと渡る進化の道のりを示す重要な恐竜だと考えられます。



ササヤマグノームスの復元画(©田中花音)。推定全長は約80cm。



- A** 丹波篠山市 大山下
○獣脚類
- B** 丹波篠山市 西古佐
○角竜類 ○ヒプノヴェナトル・マツバラエトオエオルム
- C** 丹波篠山市 宮田
○獣脚類 ○ササヤミロス・カワイイ(ほ乳類)
○パキゲニス・アダチイ(爬虫類)
○ササヤマグノームス・サエグサイ(角竜類)
- D** 川代1号トンネル岩砕(丹波篠山市)
○角竜類 ○恐竜の卵殻 ○ワニ類
○獣脚類 ○竜脚類 ○鳥脚類



丹波篠山恐竜化石ヒストリー